

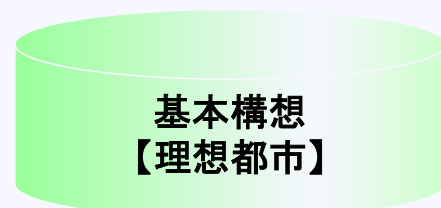
行政評価結果(概要) 令和6年度実施事業

行政評価とは、行政の活動を評価し、その結果を各種計画の策定、行財政改革、予算編成などの政策の立案を支援するために活用するとともに、その情報を公表することで市民への説明責任を果たし、市民との情報共有を図る仕組みです。

苫小牧市の行政評価は、「施策評価」と「事務事業評価(主要事業レビュー)」により実施しています。

	施策評価	事務事業評価
目的	総合計画の進行管理	事務事業の見直し 効果的な行政運営の実現
評価対象	総合計画の運営方針(8方針) 基本施策(40施策)	主要事業 ・一般会計(381事業) ・特別会計(11事業) ・企業会計(14事業)
評価方法	各担当課による自己評価(A～D) A(良い評価) B C ↓ D(悪い評価)	各担当課による自己評価(A～D) A 事業の見直しの必要がないもの B 事業の一部見直しが必要なもの C 事業の大幅な見直しが必要なもの D 事業の見直しでは改善が困難(廃止)

総合計画と行政評価



基本構想は、本市が目指す理想の都市及び市政を総合的かつ計画的に推進するための施策の方向を明らかにするものです。



基本計画は、基本構想で示す本市の理想都市を実現するため、今後のまちづくりを進める上での総合的な指針となるものです。



実施計画は、基本計画に定めた主要施策を中心に、実施する事業を明らかにしたものです。

▶ 施策評価

▶ 事務事業評価

総合計画とは、これからの苦小牧をどのようなまちにしていきたいという「まちづくり」の長期的な目標や考え方を示す、苦小牧市にとって基本となる最上位の計画です。

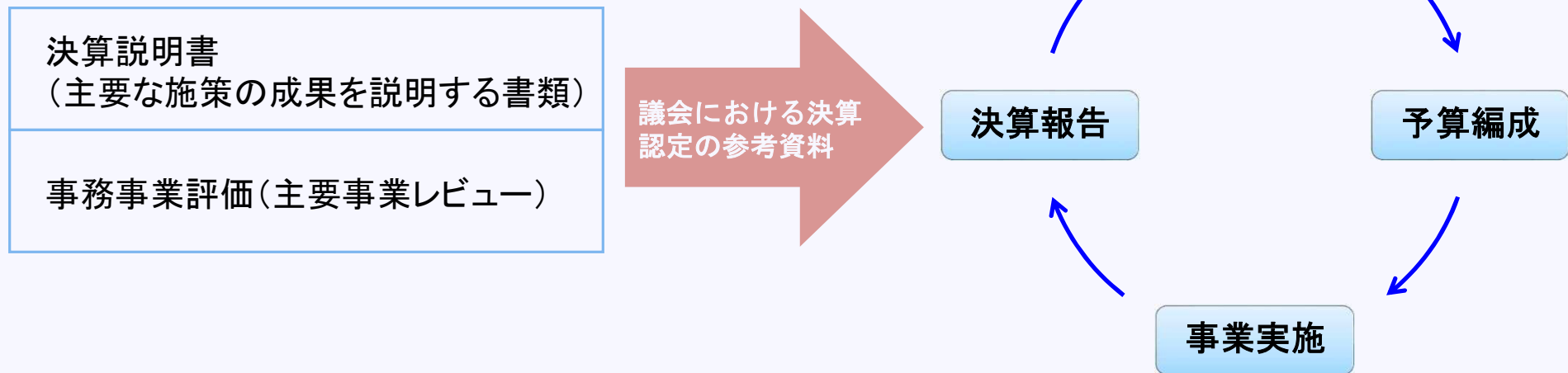
事務事業評価の活用(イメージ)

1 決算審査特別委員会における審議の参考資料 (財政課・各担当課)

- ・決算説明書を補足する資料として公表

2 決算分析・事務事業の見直し・次年度の予算編成 (財政課・各担当課)

- ・事務事業評価（主要事業レビュー）による分析
- ・事務事業の見直し・予算編成への活用



施策評価結果一覧

		A	B	C	D	計
自治体運営 第1 市民自治によるまちづくりの推進		0	3	1	0	4
自治体運営 第2 健全な行財政運営の推進		1	3	0	0	4
部門別計画 第1 共に支え合い健やかに暮らすまち		3	4	0	0	7
部門別計画 第2 明日を拓く力みなぎる産業のまち		3	8	0	0	11
部門別計画 第3 学ぶ喜びがあふれる文化の薫まち		0	6	0	0	6
部門別計画 第4 自然と環境にやさしいまち		0	4	0	0	4
部門別計画 第5 安全・安心で快適に暮らすまち		3	8	1	0	12
合計	R6	10(20.8%)	36(75.0%)	2(4.2%)	0(0.0%)	48(100%)
	R5	8(16.7%)	38(79.2%)	2(4.2%)	0(0.0%)	48(100%)
	増減	2	▲2	0	0	0

施策評価は、A評価が20.8%、B評価が75.0%、C評価が4.2%、D評価が0%(なし)との結果となりました。
C評価の「地域活動の促進」と「まちなかの活性化」の2施策は、昨年度に引き続き、C評価となりましたが、A評価は前年から、4.1ポイント増加するなど施策全体としては、概ね良好な進捗状況と評価しています。

事務事業評価結果一覧

		A	B	C	D	計
一般会計		329	49	3	0	381
特別会計 ・国民健康保険事業特別会計 ・介護保険事業特別会計		8	3	0	0	11
企業会計 ・水道事業会計 ・下水道事業会計 ・市立病院事業会計 ・公設地方卸売市場会計		14	0	0	0	14
合計	R6	351(86.5%)	52(12.8%)	3(0.7%)	0(0.0%)	406(100%)
	R5	361(83.4%)	68(15.7%)	4(0.9%)	0(0.0%)	433(100%)
	増減	▲10	▲16	▲1	0	▲27

事務事業評価は、A評価が86.5%、B評価が12.8%、C評価が0.7%、D評価が0%(なし)との結果となりました。

A評価は、前年から3.1ポイント増加し、85%を超える事業が、今後も事業内容等を維持していくべきと判断しましたが、C評価となった3事業「町内会合同事業促進補助」、「市有施設太陽光発電設備設置補助事業」、「苫小牧市障害者雇用奨励金事業」は、事業の利用がないなど、事業の未実施が低評価の主な理由となっており、事業の大幅な見直しが必要と評価しています。